

3年  
学年だより  
第4号

# Shining!!

令和7年7月24日(木)  
かほく市立河北台中学校  
校長 竹内 幸明  
学年主任 廣谷 玲江

## 勝負の夏休み！一番の敵は自分！

いよいよ夏休みがスタートします。1学期の進路集会でも夏休みの過ごし方の大切さについて話がありました。充実した学習を行うために、また、いろいろな誘惑に負けないためにも、自分の未来の姿を思い描いて頑張っていきましょう。以下は、「特別講演会」で聞いたお話の内容です。もう一度思い出して、やる気に火をつけてほしいと思います。



7月7日に、受験を控える生徒たちの進路に対する意識を高め、今後の学習や進学に対する意欲の向上を図ることを目的として、「特別講演会」が開催されました。講師として、石川県立金沢錦丘高等学校の森 博之校長先生をお迎えし、「どんな高校生が伸びるのか」や「中学生のうちに身につけておくべきこと」などについてお話していただきました。

働くこととは…  
お金を得ることも大切なことですが、人の役に立つことが満足感や充実感につながります。

10年後の世界は今と大きく違った社会になっていると考えられます。それに備えて高校で養っておきたい力は…

21世紀を生きる高校生に何が  
必要か？

変化に対して適応する力

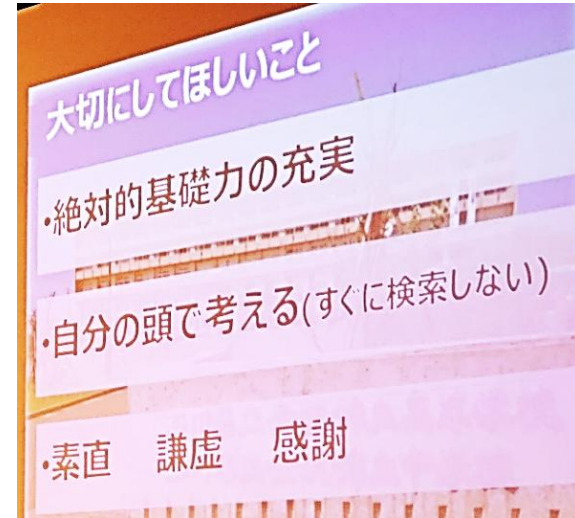
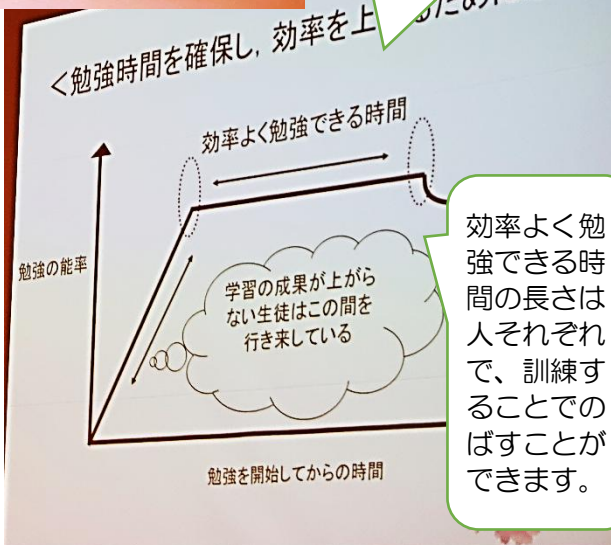
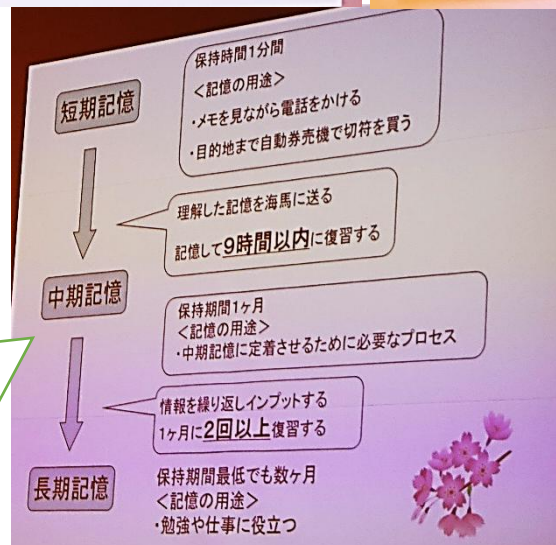
社会をよりよいものに変える志

具体的に高校で何をする？

確かな学力(教養と知性)←授業  
豊かな人間性←部活動・行事など  
+  
21世紀型スキル←「探究学習」  
実践的英語力←4技能型授業

効率よく勉強できる時間は、勉強を開始してから30分後。その間に勉強以外に気がそれてしまうと最初からやり直しになります。

確かな学力を養うためには、中学生のうちからしっかり取り組んでいくことが大切です。



高校を選ぶときは…  
選ぶポイントはいろいろあると思いますが、自分が一番輝けるところかどうかを考えて選択してほしいです。



真剣に講演を聞きながら、自分の高校生活やその先の将来について考え、これからの学習や進路選択についての意欲を高めていました。その振り返りを紹介します。

講演会で、高校では学力や人間性などを授業や部活動、行事を通して学ぶということを知りました。だから、それに向けて今日学んだ「大切にすること」を今のうちから徹底して過ごそうと思いました。「大切なこと」の中にあった「自分の頭で考える」ことは特にできていなくて、ワークなどで分からない問題があったらすぐに教科書を見て調べたり、ネットで調べたりしてしまうので、これからは分からなくても間違えてしまっても良いから、自分の頭で考えることを習慣づけます。そこで、間違えた問題を何回も復習することで長期記憶にもつなげていきたいと思いました。

森校長先生は、絶対的基礎学力が必要だとおっしゃっていたけど、私は普段ろくに基礎もできていないのに応用問題に取り組んでしまいます。確かに基礎を完璧にこなせていないと応用問題を解くことはできないので、今日から夏休みが終わるまでの間は焦らずに、1～2年生までの基礎を完璧にしておこうと思いました。また、変化に適応する力を身に付けるには、切り替えを速くするべきだともおっしゃっていたので、これからはタイマーを用いた勉強法を取り入れたり、隙間時間を活用したりするようにしようと思いました。これらを継続して実践できるように、毎日意識していきたいです。

今日の講演会を終えて、たくさんのことを学ぶことができました。まず、これから来る未来に必要な力は変化に対して適応する力でした。私はこの力をつけるために、いろいろなことに興味を持つことやニュースを見て知ることから始めたいと思います。次に、勉強の効果を上げるためには最初の30分が大切だと分かりました。その30分間はスマホなどを触らないことを意識していきたいです。最後に勉強と部活動を両立させるために大切なことは、切り替えることだと分かりました。部活動が終わった後はすぐに勉強に切り替え、だらだら始めないようにしたいです。ほかにも今日からすぐにできることがたくさんあったので、実践していきたいです。そして、支えてくれている親や先生に感謝の気持ちを忘れないように生活していきます。